

「第13回地域教育実践交流集会」及び「第5回東・中・南ブロック集会」

「おでん」は、大根やチクワなど多種多様な具材を長時間一緒に煮ていくと、一つ一つの具だけでは決して出ない旨味が出てくる。

そのような趣旨で、13年前から、毎年「国立大洲青少年交流の家」で1泊2日の集会を開催してきた。全国から年代を問わず、様々な活動ジャンルを超えて、子どもに関わる多彩な実践家が手弁当で集まり、互いの実践を共有し合いながら「かかわりをチカラにつながりカタチに」することを目指している。また、5年前からは、東予・中予・南予別にブロック集会も開催し、より地域に密着した集会の充実を図っている。

しかし、今年はコロナ禍で全国から300人以上の参加者が実際に集まり交流することは、諦めざるを得なかった。選択肢は2つ、「中止するか」「会わなくてもできる方法を考える」か。協議の結果、ソーシャルディスタンスを求められていても、地域には「関わりや繋がり」を模索している実践事例が多くあることが分かり、その必要性を今こそ共有・共感しようとオンラインでの開催を決定した。

しかし、200名を超えるzoom会議は実施したことがなく、また参加者も不慣れな人が多いことも予想された。そこで、事前に10回の実行委員会や24回の研修会をオンラインで開催し、本番に備えることとした。



手探りで第13回地域教育実践交流集会

今年はオンラインということもあり12月5日14時～18時の日程で開催し、223名の参加があった。趣旨説明の後、全国から集まった26事例の発表を中心に13のブレイクアウトルームで分散会を実施した。分散会終了後は、全員でシンポジウム「地域教育を語る200人夢会議～コロナ禍の「かかわり」と「つながり」～実践事例の紹介と検証」を行った。幸い、分散会もシンポジウムも活発な協議が行われ所期の目的は達成されたように思う。

実践事例

佐那河内村	村おこし	徳島県
馬路村	自然農法で子どもたちと稲作 塾のない村ゆえ大学生を招いて季節的に子どもたちの学習塾開設	高知県
裾野市東地区おやじの会	7年間×ほぼ月1回、何もしない合宿を実施。夜ご飯とお風呂を済ませ、寝袋だけ持って集まり、遊んで、寝て、遊んで、朝帰るだけ。「人と人が関わる場」の提供により、地域づくり事業の土台を作っている。	静岡県

NPO remo [記録と表現とメディア のための組織]	「ご近所映画クラブ」映画制作経験がない10歳から67歳までのみなさんが、企画から撮影までを行い、3時間で1本の映画をつくる活動	大阪府
市ヶ尾ユース WAVE	市ヶ尾ユースプロジェクトの発展型。神奈川県立あおば支援学校・地域・行政とチームになり、出版会社の協力を得て、小学生向け防災テキスト作成に着手している。	横浜市
桐蔭学園高等学校 トランジションゼミ同好会	健常者と障がい者のソーシャルインクルージョン(共生)を障がい者スポーツを通して社会に発信していく活動をしている。	横浜市
笠岡市新山公民館	学生協働プロジェクト。公民館が地域の中学生のアイデアを実現。地域を巻き込んだ映画作りを実践した。	岡山県
NPOおのみち寺子屋	小学4年生から6年生までの100名が4泊5日を掛けて尾道市内100kmを歩き抜く事業(=おのみち100km挑戦隊~感動創造の旅~)がメインとなる活動。“おのみち100km挑戦隊”では、自分の身の丈に合った「挑戦」と「成長」の機会を提供するために、事業としての軸(事業趣旨)を大切にしながら、参加者一人ひとりが挑戦&成長し続けられる環境を創っています。本年は、新型コロナウイルスの影響により、“感恩報謝の旅”として展開中です。	広島県
島根県益田市	益田市のひとつづくり協働構想	島根県
北海道公民館協会	今年度実施した北海道の社会教育主事講習の新規性について、ウェブ配信や首長部局や道議会議員などとの連携について	北海道
那覇市若狭公民館	パーラー公民館、県議会議員選挙を題材とした高校生のウェブ会議、貧困対策としての子ども支援あるいは新型コロナ対応など	沖縄県
NPO放課後アフター スクール	全国各地で放課後の子どもたちの居場所づくり・体験交流活動を活動展開している。興味深い取組が多い。	東京都
文部科学省地域学校 協働活動推進室	福島・群馬・埼玉の学校での、地域学校協働活動による学校と地域のしなやかなあり方	東京都
翠小学校PTA	移住者、校区外通学者による地域学校協働活動	伊予市
青少年市民協働セン ター事業(ホリバタ)	青少年を対象とした人づくりの拠点(キャリア教育)、地域づくりの拠点(ハード面、ソフト面などの支援)	宇和島市

久万高原町立病院	”地域をまるごとケアする”まちづくりのため、地域に飛び出し、町民のそばに寄り添う「コミュニティナース」という仕組み	久万高原町
伊予市	地域おこし協力隊員に就任した現役女子大生が仕掛けた、地域の農産物、海産物、加工品だけでなく、“人”も全国に売り込む取り組みを展開中	伊予市双海町
あすもわ	廃業したスーパーマーケットを改装し、住民が集えるスペースを開設。公民館事業とコラボさせながら、住民が気軽に集い、学んでいる。	八幡浜市
松山東雲女子大学 「しのモン応援隊」	ヤングボランティアセンター高校生スタッフとしてボランティア活動に出会い、大学でも被災者支援ボランティアに取り組んだ。ボランティア活動に取り組む大学生の思いを発表する。	松山市
サイボウズ株式会社	松山テイクアウト部の取組×宅タク便 愛光高校の高校生が、加盟店の検索マップ作りに参画	松山市
NPO佐田岬ツーリズム	オンラインを活用し、自宅にいながらユニークな体験ができるプログラムを提供。	伊方町
NPO 消費者支援グループひめまる	子供を主な対象とし、消費者意識を高めるワークショップや教材提供をしている。SDGsについて視野の広がる子供が増えている。	松前町
NPO 法人・ワークライフコラボ	「まちのがっこう」を運営している。地域の達人を講師とし、学校区を越えた人のつながりを大切にする学びの場をつくっている。	松山市
防災企画・制作「佑」	楽しみながら防災を学ぶ教育活動・・・地域防災を担う若手人材の育成	西条市
シトラスリボンプロジェクト	大洲市平野中学校では、地域学校協働活動のコーディネーターさんが中心になって、生徒とともにシトラスリボンプロジェクトを展開している。	大洲市
愛南町ぎょしょく教育	愛南町と三崎をつなぐ、愛媛最南端&最西端研修を計画中	愛南町

地域の特徴を生かしたブロック集会

南予ブロック集会 9月20日13時～16時30分 伊方町三崎総合支所 49名

高校生・企業・NPOの実践発表と高校生の進行による全大会を開催

東予ブロック集会 1月31日12時25分～16時40分 西条市中央公民館 84名

3高校の実践発表と西条市立志隊・新居浜市泉川校区コミュニティスクール

中予ブロック集会 2月14日 141名 13時～16時10分 オンライン開催
大学生と高校生を中心に実践発表と12ブレイクアウトセッション

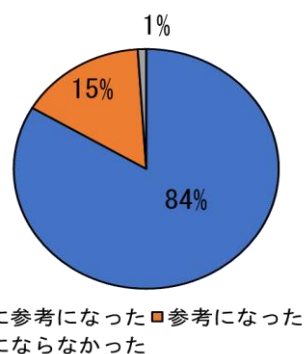
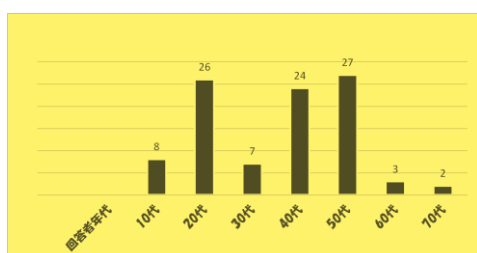
参加者の熱望による スピンオフ企画

開催後のアンケートから他の分散会の事例も知りたいとの意見が多く寄せられた。そこで、オンラインという特性を生かしミニ交流集會を5回(12/26・1/9・1/16・1/23・1/30)急遽追加開催し、発表の様子はYouTubeで配信した。

事業評価

アンケート抜粋

- ・メッセージ機能での意見の出し合いや感想の伝え合い、質問など出しやすい雰囲気になった。
- ・今後自分が就職するにあたって、地域や子供達など人との関わりを大事にしていきたい。
- ・とりあえず「行動してみる」の大切さを感じた。
- ・愛媛県をはじめとして、多くの方々がネットワークを力にして、実際に活動を継続されていて素晴らしいです。それを今日のように報告しあい、刺激を受け、頑張らなくちゃと思える大会をこのまま継続してほしいと思います。
- ・学んだことは3つ。楽しむ姿勢と人とのつながり、そして伝え方。
- ・分散会で印象に残ったことば、「表現次第で他人になる」「その気にさせるのは単純なきっかけ」活動を知らない人に興味をもってもらいたいときに重要になる。



「第13回地域教育実践交流集會」参加者年齢分布 感想

